

水草等対策技術開発支援事業実績

採択年度	H30, R1. 年度	事業者名	WEF 技術開発株式会社
補助事業名	水草活性酸素処理の量産システム開発(乾燥方法改善)、 活性酸素処理水草の各種ガラス工芸利用展開		
補助事業結果概要	<ul style="list-style-type: none"> ・弊社の最終目標は大量に発生する刈取り水草の農業利用である。農業利用する場合、水草が大量処理可能、出来た肥料が低コストで高付加価値があるの3条件をクリアしなければならない。 ・弊社開発の空気中の酸素を活性酸素にする技術(特許取得)を利用して、この課題解決に3年間取り組んできた。令和2年度に、この課題がすべて解決できる処理システムを開発することが出来た。 ・機械装置での処理時間が1時間余り、後は1日1回の切り返しで、夏場5日、秋口10日で完熟たい肥が出来、しかも農家にとって収益増となる①収量UP、②連作障害無し、③ミネラル豊富な美味しい野菜(果物は糖度UP)が、この水草堆肥だけで可能になった。 ・この処理システムで特許申請し、今後大量処理を実現して、有機栽培各農家とタイアップして、健康食の地産地消を実現していく。 		
<p>本年度(令和2年度)の状況</p> <p>・技術開発等の状況を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は当初、活性酸素処理した水草乾燥の短縮で、脱水袋を利用した脱水システムの試験を行ったが、水草の種類・状態等によって乾燥時間にばらつきがあり、計画通りにはいかなかった。 ・そこで、今までの処理装置とは別の攪拌装置を借りることが出来た(既存の装置の3倍の高速回転)ので、これで試験処理したところ、今までの3倍早く処理することが出来た。水分調整にリサイクル炭、これも不要物のヌカを入れ、好気性菌で発酵を試みたところ、5日で完熟堆肥となった。 ・数カ所でこの堆肥を利用して栽培試験をしたところ、化学肥料の何倍もの収量UPになった。 ・肥料、肥料を混合した土壌を分析した結果、最高の状態であることを確認した。 ・この結果、今後はそれほどのイニシャルコストを必要としなくとも、大量の水草が処理可能となり、しかも今までにない、植物由来の付加価値の高い肥料が供給できることになった。 		

備考	
----	--

※補助事業結果については、実績報告書にて報告をいただいておりますが、結果を公表するにあたり、改めてお伺いしています。

企業秘密等、公表されることで、不利益となること等は記載しないでください。